

4・5月分の報告をします。

今月は、アメリカ生活最後の月でした。

アメリカに来て出会った友達と、思い出の場所に行きあう時はこうだったなあなど今までの留学生生活を振り返りました。ファイナルが迫っていたこともあり、時間が合わず最後に会えなかった友達もいてその部分が非常に残念でした。

別れの時には特に仲が良かった友達3人が見送ってくれ、涙を流してくれたのが非常に印象深く、私も泣いてしまいました。このような経験ができ非常に嬉しく思います。

・留学の総括

この留学を振り返り、思ったことを書きます。

まず、渡米してからの最初の2カ月間 IEI で英語を勉強しました。そこには、様々な国の学生がおり、人生で初めて外国人の友達ができました。ここの学生は皆英語を学びに来ているのだから英語をそこまで上手に話すことができないだろうと勝手に抱いていた私の想像とは全く違い、その頃の私にとって彼らの英語力は非常に高いように感じていました。IEI の学生は、アメリカの大学に入学するための準備期間であったり、UIUC への条件付き入学、ただ英語を学ぶために来ていたり、様々な目的を持って来ていました。また私は、初めてアメリカに来たこともあり、日本では目にしない光景が多々見ることができました。そういった点では非常に良い経験をさせてもらいました。ただ、今振り返ると、この期間は IEI の学生と接する時間が多く、英語話者と接する機会の方が IEI の学生に比べ少なかったことで、今のリスニング力とスピーキング力を思うと、それらの力はあまり伸びなかったように思います。もちろんその他のライティング、リーディングは非常に為になりました。そして9月、UIUC での授業が始まりました。正直、授業中に何をすればいいのかすら理解することができず、すごく落ち込んだ日々が続きました。そして、これを救ってくれたのがその頃に寮で知り合った友達でした。彼らは、私を遊びに誘いシャムペンでの楽しみ方を教えてくれたり、彼らの友達を紹介してくれ友達の輪が広がったり、一緒に旅行に行ったり、もちろん英語も教えてくれ、非常に感謝しています。年が明けた後は、私自身、英語力が急に伸びたのを感じることができ、彼らとは非常に深い話しをしました。初めの頃は、彼らの友達の輪に入れてもらっている1人の交換留学生だったのが、本当の友達として受け入れてくれてくれたと実感することができました。彼らと過ごした時間は本当にかげがえのない時間で一生忘れません。この留学で一番良かった事は、彼らと出会い同じ時間を過ごしたことです。一方で授業の面では、私の英語力では十分ではないと痛感しています。特にディスカッションのクラスです。私のディスカッションのクラスは、質問に対し学生の意見が飛び交い、議論を積極的にし、非常に活動的でした。クラスは私以外全員アメリカ人で、アメリカ人は意見をはっきり言うと言いますが、本当にその通りです。また、英語で新たな事を学ぶのは非常に大変でした。新たな知識を得た後に、それらを英語でアウトプットすることの難しさを未だに感じます。しかしこの留学を通して、私の考えが変わったのも事実です。渡米する前は、1年間アメリカで生活することの不安や期待でいっぱいでしたが、この留学を終えようとしている今、この1年間は将来海外で働き生活していくための準備期間のひとつであり、この留学で得た経験をただ経験として持つのではなく、今後に必ず活かしたいと思っています。最後に、今回の交換留学の機会を与えて下さった、国際交流室 札幌野順教授をはじめとする国際交流室のスタッフ関係各位、日下迢教授、教務部長佐藤恵一教授をはじめとする金沢工業大学のスタッフの方々、交換留学生選考委員の先生方に心から感謝致します。本当にありがとうございました。